

一般社団法人 福島県作業療法士会
平成28年度 第5回理事会抄録

日時：平成29年1月31日（火）17：30～21：00

場所：ユラックス熱海 第3会議室

出席者

理事：長谷川、柴田、木村、田口、佐藤、根田、
児玉、今川、松下、青木、富岡、岡本（佳）

監事：渡邊

支部長：半谷、近澤、鳥越、宗像

部員：荒井、日下部

1. 会長挨拶

2. 定足数報告(総務部長)

出席者19名（理事12名中12名出席）

3. 三役の会議等出席動向

月日	内容	場所	出席者
10月7日	会津PT・OT・ST三士会研修会	会津若松市	長谷川会長
10月19日	福島県リハビリテーション専門職団体協議会設立報告あいさつ回り	福島市	長谷川会長
10月29日	福島県地域リハビリテーション研究大会	いわき市	長谷川会長
10月30日	福島県作業療法学会	郡山市	長谷川会長
10月31日	福島県地域包括ケアシステムトップセミナー	郡山市	長谷川会長
11月7日	ふくしまけん医療機器検査支援センター開所式、内覧会	郡山市	長谷川会長
11月12日	山形県作業療法士会30周年記念式典	山形市	柴田副会長
11月13日	三輪書店OTジャーナル座談会	東京都	長谷川会長
1月12日	年始知事懇談会	福島市	長谷川会長
1月14日	大内俊奉先生厚生労働大臣賞受賞祝賀会	いわき市	長谷川会長
1月20日	心のケアセンターの今後の話し合い	郡山市	長谷川会長
1月23日	福島県ロービジョンネットワーク代表八子恵子先生来訪	会津若松市	長谷川会長
1月28、29日	日本作業療法士協会47委員会	東京都	長谷川会長・柴田副会長
1月30日	福島県リハビリテーション連絡協議会	福島市	長谷川会長

2月3日	福島県老人保健施設協会研究大会懇親会	福島市	長谷川会長
2月23日	心のケアセンター開設5周年記念シンポジウム	郡山市	長谷川会長
3月10日	郡山健康科学専門学校卒業式	郡山市	長谷川会長

4. 議題

【検討・決議事項】

①平成29年度 活動計画の基本方針【長谷川会長】
次年度は全国的な大きな事業はないが、通常の運用を心掛ける。

1. 地域包括ケアシステム構築関連体制への対応
 2. 認知症対策事業への対応
 3. 学術活動の強化・充実
 4. 研修会の計画的開催と内容の充実
 5. 特別支援教育への対応
 6. 事務局機能強化の継続
- を基本方針としてすすめていく。 ⇒承認

②平成29年度事業計画案・予算案【財務部長】

1) 概要説明

会員数は920名を見込んで計上。

2) 各部・支部主催研修会等の見直し【長谷川会長】

研修会は全体で40以上予定し、月に3回以上が予定されている。これに県からの委託の研修会が入るとやや詰まっている印象があるので、他の事業とも併せて見直しを検討したい。

医療保険部⇒身障部門・精神部門の研修会は取りやめ、発達部門へ絞る。

介護保険部⇒めだかの学校は各支部の連絡会としての位置づけで行う。

災害対策委員会⇒学会セクションに取り入れる予定。

・各部予算を見直し財務へ再提出をする。

3) 事務局(総務・財務)【事務局長】

・旅費に関しては協会の旅費請求書を使用する。

・各種規定の見直し等(旅費規程・交際費規程・表彰規程等)

・定款改訂

30年度役員改選に合わせて検討していく。

・Web、ICTを駆使しペーパーレス化のもと経費削減に努める。

4) 認知症カフェ取組検討【会津・南会津支部長】

来年度の事業計画。月1回のペースで実施の目途はつきそうである。(行政の協力も得られる可能性あり)

渡邊:会津では他に何か所やっているのか⇒3か所くらい

重複していないのか⇒無い箇所でもやる予定。

今後の市(行政)の展望とあわせて検討していくよう

にしたほうが良いのではないか。

OT だけで続けるよりは地域の人に任せられるような活動を検討していただくとよい。

※運営費用は県士会として検討していく。無償ではかえって参加しにくいということで一人 100 円程度集金する予定。

5) 福島県リハビリテーション専門職団体協議会事業協力委員会(仮)の設置検討【長谷川会長】

3 部門で経費を分担。OT は年間 2 万円の拠出。運営自体は基金の 300 万円を使用

6) その他(補助金事業等)【事務局長】

●平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業提案 (PT 士会提出)

・介護予防推進に資するリハビリテーション専門職種の指導者育成(介護分)

・地域包括ケア構築に資するリハビリテーション専門職種人材育成(介護分)

●平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業提案 (OT 士会提出)

・認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業

●平成 29 年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (介護人材確保対策事業)

・在宅生活環境の整備に関する知識や技術の研修事業

●平成 28 年度福島県地域医療復興事業補助金

・理学療法士等医療従事者確保推進事業

広報部：広報部・事業部でパネルなどの広報品を作成したので、各支部など使用案があれば教えていただきたい。

⇒承認

③平成 28 年度予算 補正予算について【財務部長】

医療保険部より部員増加に伴い部員の交通費不足で 3 万円の補正をしたい

財務：今後も活動の活発化に伴い部員の増加が考えられる。今後事業に合わせた参加人数の検討や会議のやり方など検討していただきたい。

会長：部員増加の理由もわからないと検討も難しい。医療保険部：部員のいない方も出てきたので、全体で出ていただくよう呼び掛けた結果増えた。

会長：活動が活発化することは大変結構。ただし、必要なものに力が注げるように注意していただきたい。

⇒承認

④ その他

事業部：次年度の公開講座の講師の検討をしていく。

⇒承認

【報告案件】

①福島県リハビリテーション専門職団体協議会の設置

について【長谷川会長】

決議事項 ②の(5)と同じ

②心のケアセンターの常設設置要望【長谷川会長】

震災から 5 年が経過し予算が大幅に削減されたため、臨床心理士会を中心に要望をあげることになり、主要団体が集まって話し合いが行われた。臨床心理士会としてはすでに単独で常設の要望を掲げているが、現実的な部分を考えて、現状維持で話を進めていく予定。

③平成 28 年度第 4 回 OT 協会 47 委員会報告【長谷川会長】

・会員管理システムは、協会＝士会員を目指し進めたい。現在 6,000 人のずれが生じている。

・パイロット事業の報告(鹿児島、愛媛、北海道)

・ワーキンググループの報告

・発達障害の特別支援教育について、災害対策への準備についてなどの話し合いをしてきた。学校作業療法士の提言などもあった。障害福祉サービスという括りの中で行っていくことだが、児童発達支援事業などで作業療法士として介入していく余地があるということで、就労支援を含めて国とパイプ作りができつつある。作業療法士ひとりひとりがしっかりと認識し知っていく必要がある。

④視覚障害のリハビリテーションに連携要請【長谷川会長】

ロービジョンネットワークより連携要請あり。

⑤OT 協会からの委員等推薦について【事務局長】

1) 運転と作業療法に関わる都道府県士会協力者：瀬ノ上氏

2) 協会地域包括ケアシステム推進委員会の県士会窓口：松下氏

3) 生活行為向上マネジメント推進委員：根田英之氏

4) 認知症作業療法推進委員：青木智子氏

5) 生涯教育制度推進担当者：米畑聡氏

⑥ 特別支援教育での実践に関する情報交換会報告【岡本(宏)：長谷川会長代理報告】

全国 7 ブロックに分かれて行っている。東北ブロックは特別支援教育では、あまり進んでいない。今後いろいろ整備して進めていく段階。

先進的に行っている京都などでもほぼボランティアで行っているのが現状。また、発達領域に携わる人も少ない中で、質の担保が重要な課題である。学校では教師免許がないと個別ではできない(学校教育法に触れる)ため、観察が中心となる。作業療法士なら誰でもできるような意識・教育も大切だと思われる。

渡邊：OT 協会としては学校へ 600 人程度いけるようにしたいと訴えているが、現実的には難しい。

やはり作業療法士全体の意識付けや教育が重要になってくる。

⑦ 士会接続システムについて【総務部】

全ての県士会で OT 協会とシステムが繋がった。あと 4 年間で OT 協会会員＝県士会会員と自動的に反映されるシステムの構築への完全移行を考えている。OT 協会と県士会の会員情報の整合性という観点でシステムの見直しが今後も行われていく。県士会としては定款の改訂などが必要になる可能性あり。

⑧ 各部報告

1) 総務部・財務部

会費未納入、書類不備の方が全体で約 20 名いる。研修会に出ているかどうかの照合をお願いしたい。

2) その他

医療保険部：今年度の事業報告。(別紙参照) アンケートは身障領域でも調査する予定。

地域保健福祉部：認知症支援に関するアンケートを作成中(素案)で次回検討したい。

地域支援に関する会議報告書の取り扱いについて報告。

渡邊：WEB アンケート(無料)も可能。今後調査にしても整理が楽。あとは対象をしっかりと絞る。

会長：医療保険部、地域保健福祉部と協力しやってほしい。

生涯教育部：EXCEL データベースを各支部にメールするので使用していただきたい。手順など、マニュアルの作成を 3 月中に。

今年度の分はどうするか。⇒可能であれば今年度も出していただきたい。

会津支部：医療センターで公開講座行う。士会後援。

県南支部：白河市内 30 か所で認知症サロンを開いているが、市より支部に講師依頼あり。平成 29 年度 1 年間予定。また「ひもろぎの園」の石井氏は個人的に行っているなので情報聞きながら進めていく予定。

介護保険部：若年性の認知症自立支援部会について依頼あり。参加予定。

5. その他

SNS など注意。その他倫理事項に注意していただきたい。

6. 副会長挨拶

以上